

指定管理者に係る令和7年度事業報告書及び令和8年度事業計画書について (埼玉スタジアム2002公園)

指定管理者：埼玉スタジアム2002公園マネジメントネットワーク（令和7年度～令和11年度）

1 令和7年度事業報告書の概要

(1) 管理業務の実施状況

ア 大規模試合が計23試合開催され、指定管理者として試合主催者への運営支援を行い、円滑かつ安全な試合運営を実現した。

イ 「世界最高水準のサッカースタジアム」にふさわしいピッチコンディションを試合時に提供できるよう、これまで培った技術やノウハウを基に芝管理を実施した。

なお、令和7年度のJリーグ（21試合）における、マッチコミッショナーによるピッチ評価では平均9.97点（10点満点）と極めて高い評価をいただいた。

ウ 「埼玉スタジアム2025」・「埼玉スタジアムオープンデー」及び「埼玉スタジアムクリスマス2025」などのイベントを開催して、公園の賑わい創出事業を実施した。

エ 園内の安全確保を図るため、見通しの確保、照明機能維持、落枝事故防止など適切な管理を行った。

(2) 施設の利用状況（過去5年間）

施設名	R3	R4	R5	R6	R7
スタジアムほか	473,194人	781,059人	1,034,356人	1,243,887人	1,329,763人

※ 令和3年度及び4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、Jリーグなど大規模試合の人数制限を行った。

(R7大規模試合)	・浦和レッズ戦	21 試合
	・天皇杯準々決勝	1 試合
	・YBCルヴァンカップ準々決勝	1 試合
		計 23 試合

(3) 収支状況

(単位：千円)

項 目	決算額 a	予算額 b	決算額と予算額の比較		備考
			差額 c=a-b	差額の発生理由	
指定管理料	345,008	345,008	0		
利用料金収入	489,150	518,585	△29,435	日本代表戦の試合が開催されなかったことによる減	
その他収入	92,314	100,445	△8,131	常設看板掲出企業の減少による広告看板収入の減	
収入合計	926,472	964,038	△37,566		
人件費	350,173	321,525	28,648	給与改定による増	
事業費	516,059	642,513	△126,454	委託業務の入札結果による減	
支出合計	866,232	964,038	△97,806		
収支差額	60,240	0	60,240		

2 令和8年度事業計画書の概要

(1) 基本的な考え方

- ア 公園来園者・施設利用者の利便性やサービスの向上
- イ スタジアム機能の充実により、公園を地域の活力拠点に
- ウ 誰もが参加、楽しめる公園、スタジアムづくり
- エ 世界に誇るサッカー聖地としての磨き上げ
- オ 世界に誇る劇場型スタジアムの充実

(2) 事業計画

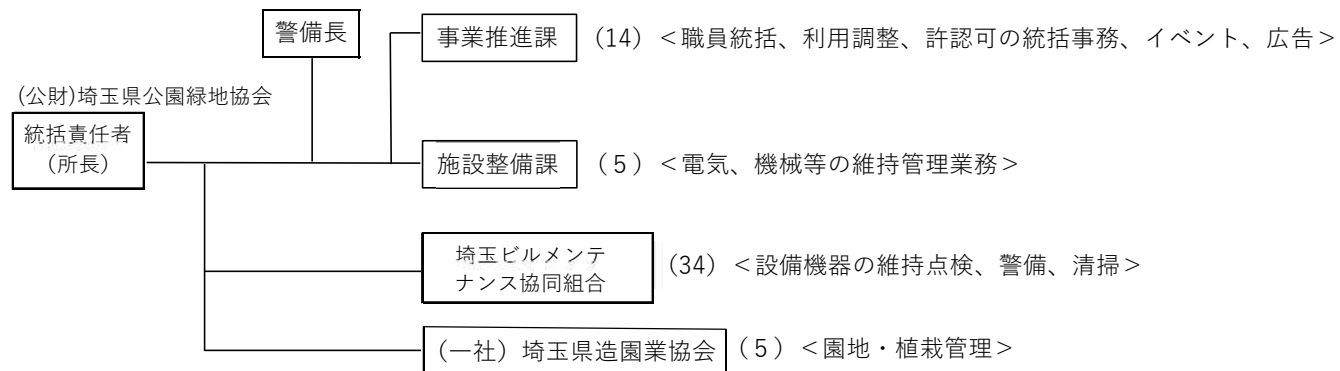
- ア 利便性やサービス向上のため、「すべての人に」の視点をもとにしたサービスを推進する。
- イ 公園を地域の活力拠点とするため、サッカー以外のスポーツやイベントでの利活用を促進する。
- ウ 誰もが楽しみ、参加できるイベントやプログラムを開催する。
- エ ハイレベルな大規模サッカー試合の誘致を行う。
- オ 来場者に感動を与える会場演出の強化を実施する。
- カ メインピッチ、第2、第3グラウンドはきめ細かいメンテナンスを行い、通年にわたって良好なピッチを確保する。

(3) 収支予算書

(単位：千円、%)

項 目	当年度予算額 a	前年度予算額 b	増減額 c=a-b	増減率 (%) c/b*100	備考
指定管理料	345,965	345,008	957	0.3	
利用料金収入	569,188	518,585	50,603	9.8	
その他収入	82,708	100,445	△17,737	△17.7	常設看板掲出企業の減少による広告看板収入の減
収入合計	997,861	964,038	33,823	3.5	
人件費	323,292	321,525	1,767	0.5	
事業費	674,569	642,513	32,056	5.0	
支出合計	997,861	964,038	33,823	3.5	
収支差額	0	0	0	0	

(4) 執行体制【60名】



(参 考)

○公園の概要

さいたま市の東部に位置し、観客席数 63,700 席のスタジアムのほか、サブグラウンド 3 面（うち人工芝 1 面）、フットサルコート 2 面などを設置している。

（供用面積約 30.4ha）

○開設年月日 平成 13 年 10 月 12 日